

いわて高等教育コンソーシアムSD研修を開催

岩手高等教育コンソーシアム（連携校：岩手大学、岩手県立大学、岩手医科大学、富士大学、盛岡大学）では、文部科学省戦略的大学連携支援事業「いわて高等教育コンソーシアム」の事業の取り組みのひとつであるSD合宿研修をこのほど二日間の日程で開催した。

今年度は、連携大学で研修を企画・立案している人事系職員を対象に、研修インストラクターの「癸生川 心」氏を講師に迎え「SD担当者のレベルアップ」というテーマで研修を行った。

初日は、岩手大学 藤井克己 学長の挨拶後、本コンソーシアムの取組担当者の岩手大学大学教育総合センター 教育改善部門長 後藤尚人准教授から、コンソーシアムの概要と目指すべき目標について説明を行った。

続いて会場を合宿先に移し、外部講師の癸生川氏から、「1．多面的に考える「いい研修」」、「2．研修の基本ステップ」、「3．研修の企画(Plan)」、「4．研修の運営(Do)」、「5．研修の効果測定と評価(Check)」、「6．研修のフォローと見直し(Action)」、「7．行動目標づくり」の7つのパートからなる講義及び演習を受けた。

受講者は、各大学で実際に行っている研修業務に照らし合わせながら、癸生川氏の研修ニーズの把握方法、研修の形態・体系、研修プログラムの作り方などの説明について、熱心に聴講するとともに、演習では、参加した連携大学職員同士で課題に協力して取り組み、体系的な研修の必要性を学んだ。

また、初日の夜の情報交換会では、各大学のSD研修の取り組みについて、国公立大学の枠を超えた意見交換を行い、交流を深めた。



開校式で挨拶する岩手大学 藤井学長

